

歯科衛生士対象

MPS: Mouth Prevention Specialist 口腔予防専門士

ベーシックコース I

ベーシックコース II

これまで基礎コースの参加者は こんな悩みを持っていました あなたは？



- ★ポジショニング、グリップ、レストがわからない。人によって違うし、いまさらひとには突っ込んで聞けない。
- ★歯石の探知も難しく、取れたかも不安。
- ★最後臼歯遠心や隅角部の縁上、縁下の歯石がどうもうまく取れない
- ★正しい姿勢を保たないといけないと思っていてもなかなかできず、終いには腱鞘炎、肩こり、腰痛に悩まされ、職業病とあきらめる。

- ★縁下歯石がわかったが、うまく除去できず、ドロドロの血液しか出てこない。
- ★直視または覗き込みがづらい
- ★もっと上手にミラーを使いたいが使いが分からない。
- ★分岐部のスケーリングが上手くできない。
- ★他の受講者の悩みと解決法も参考に聞いてみたい。



ベーシックコース I

前半の講義内容

- 1) SRP が上手にできない従来のキュレットの問題点
- 2) 理にかなったスケーラーデザインの要素
- 3) 職業病にならないための身体の使い方
- 4) 気付かれていないペングリップの弊害
- 5) ポジショニング、グリップ、レストは覚えなくてもいい理由
- 6) Angulation と側方圧の効果的なかけ方
- 7) ミラーの上手な使い方
- 8) 最も簡単な sharpening(Reshaping)の方法
- 9) 歯科医療の 4 目的から見た SRP と Debridement

後半の実習内容

pd スケーラーと pd ミラーで
模型実習をマンツーマンで行います。
SRP がきちんとでき、しかも術者の身体には
ムリ、ムラ、ムダ、ムジンの無い方法を体感



★pdとは (Proprioceptive Derivation)

生理学的由来の言葉で、五感のほかに人間が持っている固有感覚を最重要視し、私たちの姿勢、動き、器具、道具などに対して、その是非を判断、評価するプロセスです。

受講者の感想アンケートから

・自分に合ったスケーラーが見つかりました。
ポジショニングやミラーの使い方は練習すれば
技術も向上するし、体への負担も減ると思いました。

・なぜいつもやりづらさを感じていたのか？
難しく考えすぎず、身体の位置や感じ方を考える
ことも大切だと分かりました。

・9時の位置に行かなくても
最後臼歯のスケーリングができること。
少ないスケーラーですべてをまかなえること。
ポジショニングと動きで全ての歯の SRP ができること。

・不良肉芽の問題は SRP の範囲ではない！
理解出来ました。先生方がわかりやすく、
丁寧に教えてくださりとても分かりやすかったです。

・今までほとんど我流になっていた点が多かったこと、
曖昧なまま取り組んでいたことに、改めて気づくことが
出来ました。

・『自分のしやすい場合があるから、
まずはそこを探してごらん』と、とても優しく
教えて下さってすごく嬉しかったです。



ベーシックコース II

講義と実習

- 1) 患者さんのストレスをなくすために
- 2) SRP の困難部位の克服
- 3) 安定した測定ができる pd ブローピング
- 4) 視診だけではみつからない簡単な排膿検査
- 5) バイトウィング X-Ray の読み方
- 6) 従来のブラッシングの問題点
正しいブラッシングが分かれば歯周病治療の半分成功
- 7) ブラーク染め出しの意外な問題点
- 8) 臨床がやりやすくなる診療環境設定とは
- 9) 一人で診療するときのバキューム
- 10) ミラーが濡れていても見えるコツ

★MPS呼称について (Mouth Prevention Specialist)

UCLA の Periodontics の教授 Dr Henry Takei は“歯の医者”ではなく“口の医者”であると認識すべきで、自らを Mouth Doctor と自称しており、歯科衛生士の重要性も強調され、受付やアシスタントとの兼任ではだめで専従であるべきだと、また口腔衛生 oral hygiene の衛生(掃除屋というイメージ)という表現も不適切だと仰っています。その他最近の数校の米国歯学部では卒業生に DDS(Doctor of Dental Surgery)ではなく DMD(Doctor of Medicine in Dentistry)の称号を付与しています。

GEPEC も数年前から予防領域をメインに扱うプロフェッショナルとしては歯科衛生士を口の予防専門士(Mouth Prevention Specialist, MPS)に、歯科医師を口の臨床家(Mouth Clinician, MC)に名称を変更することを提案しています。

主催：PD普及の会/GEPEC

後援：(株)モリタ

〒532-0011

お問合せ、お申し込みは PD 普及の会 事務局までお願いいたします。 大阪市淀川区西中島 6-2-3 チサン第 7 新大阪 1214

TEL : 06-6100-3810

FAX : 06-6100-3801

E-mail : info@pdp.sc